

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年11月19日

計画の名称	唐津市中心市街地地区都市再生整備計画												
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）										重点配分対象の該当		
交付対象	唐津市												
計画の目標	大目標 市民の力を最大限に引き出すもてなしとにぎわいの「まち」創生 目標1 商店街再生における市民力の発揮（にぎわいのまちづくり） 目標2 観光まちづくりにおける市民力の発揮（もてなしのまちづくり）												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,037	A	1,037	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H29末)		(R5末)
1	中央商店街通行量を3,463人／日（H30）から4,450人／日（R5）に増加 平日5日及び休日2日の1日通行量の平均、街なか5箇所			
		3463人／日	人／日	4450人／日
2	観光文化施設入場者数を268,469人／年（H29）から300,000人／年（H35）に増加 唐津城、旧唐津銀行、曳山展示場、旧高取邸、旧大島邸の年間入場者数			
		268469人／年	人／年	300000人／年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	○	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
中央商店街通行量の当初現況値はH30												

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	唐津市	直接	唐津市	－	－	唐津市中心市街地地区都市再生整備計画事業	公園の整備、電線類地下埋設施設、緑化施設等	唐津市	■	■	■	■	■	1,037		－	
											小計						1,037			
											合計						1,037			

事後評価			
○事後評価の実施体制、実施時期			
事後評価の実施体制		事後評価の実施時期	
社会資本整備総合交付金による成果等を客観的に検証して今後のまちづくりの在り方を検討するとともに、事業の成果を住民にわかりやすく説明する事後評価を実施するため、「唐山市都市再生整備計画評価委員会」を設置し、目標の達成状況や今後のまちづくりの方針に関する意見聴取等を行う事後評価委員会を開催した。		令和５年度	
		公表の方法	
		市ホームページで公表	
○事業効果の発現状況			
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		指標１ 令和５年度の調査時に一部悪天候であったことから、人出が減少したものの、令和元年度から令和４年度の平均は4,600人程度であり、目標値を上回っている。 指標２ 曳山展示場の一時移転により目標値を達成することはできなかった。コロナ禍からの観光需要の回復と、関連事業を含む事業効果の発現により、一定数増加している。	
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）			
○特記事項（今後の方針等）			
【地域交流の拡大】 歴史や伝統、文化を感じる魅力ある中心市街地を形成するため、城下町の風情ある景観と調和した個性豊かな空間づくりを進める。 【観光交流の拡大】 建て替えに伴い一時移転している曳山展示場及び市民会館を整備し、舞鶴海浜公園など各拠点の整備効果を発現、持続させるためのソフト事業等を組み合わせて実施することにより、観光交流の拡大を図る。			

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	中央商店街通行量		
	最 終 目標値	4450人／日	調査時、一部悪天候であったことから、人出が減少したもの。
	最 終 実績値	3370人／日	
2	観光文化施設入場者数		
	最 終 目標値	300000人／年	コロナの影響及び曳山展示場の一時移転によるもの。
	最 終 実績値	271640人／年	

都市再生整備計画 事後評価シート
唐津市中心市街地地区

令和6年2月

佐賀県唐津市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	佐賀県		市町村名		唐津市		地区名		唐津市中心市街地地区			面積	163ha
交付期間	平成31年度～令和5年度		事後評価実施時期		令和5年度		交付対象事業費		1,037.0百万円	国費率	0.4		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名										
			公園(舞鶴海浜公園(唐津城)、松浦河畔緑地(公園の整備))、地域生活基盤施設(松浦河畔緑地(駐車場))、高質空間形成施設(松浦河畔緑地(緑化施設等)、市道明神線・志道線及び市道大名小路西ノ門線の一部(無電柱化事業)[電線類地下埋設施設、市道妙見満島線(地下道階段昇降機設置)[歩行支援施設、障がい者誘導施設等]、市道唐津駅東新興町線・千代田町町田線・妙見満島線・栄町一号线(点字ブロック整備)[歩行支援施設、障がい者誘導施設等]、中心市街地地区内の公園(トイレバリアフリー化・多言語対応等)[歩行支援施設、障がい者誘導施設等])										
		提案事業	地域創造支援事業(空き店舗チャレンジ誘致事業、松浦河畔緑地(防犯施設の整備))、まちづくり活動推進事業(まちなか回遊フットバス社会実験)										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	高質空間形成施設(市道妙見満島線(地下道階段昇降機設置))				地下道の周辺に横断歩道の移設を検討しており、昇降機の設置が不要となるため				削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
			高質空間形成施設(市道唐津駅東新興町線・千代田町町田線・妙見満島線・栄町一号线(点字ブロック整備))				他の補助事業で実施するため				影響なし		
		提案事業	まちづくり活動推進事業(まちなか回遊フットバス社会実験)				事業主体として、市と唐津中央商店街が連携して事業を行う予定であったが、唐津中央商店街が解散することになり、他に事業主体となる団体の掘り起こしができていないため				影響なし		
	新たに追加した事業	提案事業	地域創造支援事業(立地適正化検討)				自然災害の恐れのない、インフラの整った市街地への都市機能や人口の集約を図ることで、将来にわたり持続可能な都市経営を推進するための基礎資料を作成するため				影響なし		
			事業活用調査(事業効果分析調査)				計画期間の最終年度に事業の達成度合いを把握し、今後のまちづくり方策を導き出すため				影響なし		
	交付期間の変更	当初	平成31年度～令和5年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-					
	変更	-											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	中央商店街通行量(平日・休日)	人／日	3,463	H30	4,450	R5		3,370	×	あり ● なし	調査時、一部悪天候(平日:曇り、休日:晴天)であったことから人出が減少したものと推定される。令和5年度を除いた令和元年度から令和4年度の中央商店街通行量は平均4,600人程度であり、目標値を上回っている。	令和6年10月
	指標2	観光文化施設入場者数	人／年	268,469	H29	300,000	R5		271,640	△	あり ● なし	曳山展示場の一時移転開業等が影響し、目標を達成することができなかった。コロナ禍からの観光需要の回復と、関連事業を含む事業効果の発現により、観光文化施設入場者数は一定数増加している。	令和6年9月
	指標3										あり なし		
	指標4										あり なし		
	指標5										あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標2												
	その他の数値指標3												
4)定性的な効果発現状況	空き店舗チャレンジ誘致事業によって、空き店舗を活用した起業が行われるなど、まちづくり活動が活発化しており、商店街機能の維持に寄与している。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-	-	-		
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	-	-			
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	-			
	住民参加プロセス	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-	-	-		
							都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	-	-			
							都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	-			
持続的なまちづくり体制の構築	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた	-	-	-	-			
						都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	-	-				
						都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった	-	-	-				

様式2-2 地区の概要

唐津市中心市街地地区(佐賀県唐津市)都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値	目標値	評価値
大目標	市民の力を最大限に引き出すもてなしにぎわいの「まち」創生	中央商店街通行量	単位:人/日	3,463 H30	4,450 R5	3,370 R5
目標1	商店街再生における市民力の発揮(にぎわいのまちづくり)	観光文化施設入場者数	単位:人/年	268,469 H29	300,000 R5	271,640 R5
目標2	観光まちづくりにおける市民力の発揮(もてなしのまちづくり)					

唐津市中心市街地地区(163ha)

凡例

■ 基幹事業

■ 提案事業

■ 関連事業

□ 立地適正化検討

■ 舞鶴海浜公園整備

■ 無電柱化事業

■ 公園トイレバリアフリー化・多言語対応等

■ 公園トイレバリアフリー化・多言語対応等

□ 空き店舗チャレンジ誘致事業

□ 事業効果分析調査

唐津市民会館

唐津市役所

JR唐津駅

唐津城

松浦河畔緑地整備

○ 新天町パティオ街区を核とした街なか中心軸の強化

○ 外国クルーズ船オプショナルツアーによる街なか回遊

○ 唐津・商店街おもてなし力向上プロジェクト

○ 市道唐津駅東新興町線ほか3路線点字ブロック整備

○ 市道明神線道路美装化事業

■ 舞鶴海浜公園整備

【事業前】

【事業後】

■ 松浦河畔緑地整備

【事業前】

【事業後】

【唐津市に点在する各拠点の認知度、観光利用・市民利用の向上】

舞鶴海浜公園(唐津城)や松浦河畔緑地整備等により、唐津城の利用者数が増加するなど、観光利用・市民利用の向上を図ることができた。一方、コロナ禍から観光需要が回復傾向にあるものの、曳山展示場の建て替えに伴う一時移転営業等の影響もあり、観光文化施設全体としては、当初の数値目標を達成できていないため、施設の早期整備及び活用を図る必要がある。

【唐津城周辺及び市街地中心部との回遊性向上及びネットワーク強化、回遊動線のバリアフリー化促進】

中心市街地地区内の公園整備(トイレバリアフリー化・多言語対応)等により、回遊動線のバリアフリー化を促進することができたが、その効果をまちなかの回遊性向上につなげていくためにも、唐津の個性を活かした魅力ある空間づくりを進めていく必要がある。

【商店街の店舗での体験プログラムや回遊イベント等のソフト事業の強化】

まちづくり活動推進事業である空き店舗チャレンジ誘致や、関連事業(外国クルーズ船オプショナルツアーの実施や複合商業施設KARAEの開業など)により、商業空間の賑わいを創出することができたが、商店街における滞在時間を延ばすための取り組み(ソフト事業など)や、周辺施設等との有機的な連携による相乗効果を生む取り組みが必要である。

【郷土歴史の顕彰や人材の育成、市民の文化レベルの向上並びに唐津市の文化イメージの向上】

舞鶴海浜公園(唐津城)や松浦河畔緑地整備等により、観光文化施設の魅力向上を図ることができたが、郷土歴史の顕彰や人材の育成も含め、継続して市民の文化レベルや、唐津市の文化イメージの向上を図るため、市民の文化芸術活動の拠点となる施設等を整備する必要がある。

【観光交流の拡大】

これまで都市再生整備計画事業等により整備・活用を図ってきた舞鶴海浜公園(唐津城石垣再築)や旧大島邸、旧唐津銀行などに続き、建て替えに伴い一時移転営業となっている曳山展示場及び市民会館を整備し、これら各拠点の整備効果を発現・持続させるためのソフト事業等を組み合わせて実施することにより、観光交流の拡大を図る。

【安全で快適なまちなかの形成】

回遊導線のバリアフリー化の効果を発現・持続させるとともに、回遊性の向上とネットワークの強化を図るため、無電柱化事業や、防災機能も備えた広場等の整備により、安全で快適なまちなかを形成する。

【地域交流の拡大(文化芸術活動の拠点づくり)】

中心市街地における賑わいや地域住民の交流を創出するとともに、唐津の文化イメージの向上を図るため、市民の文化芸術活動の拠点となる施設整備と、これに連携したソフト事業の実施を検討する。

【唐津の個性を活かした魅力ある空間づくり】

「唐津の顔」として、歴史や伝統、文化を感じる魅力ある中心市街地を形成するため、城下町の風情のある景観と調和した個性豊かな空間づくりを進める。